

# あらかわ 区議会だより



No.221

平成 25 年 8 月 11 日発行

編集・発行／荒川区議会 ホームページアドレス <http://www.city.arakawa.tokyo.jp/kugikai/>  
〒116-8501 東京都荒川区荒川 2 - 2 - 3 電話 03-3802-3111(代表)

平成 25 年第 2 回定例会号



## 第2回定例会日程

- 6月26日 本会議
- 6月28日 本会議
- 7月2日 総務企画委員会  
福祉・区民生活委員会
- 7月5日 文教・子育て支援委員会  
建設環境委員会
- 7月9日～10日 総務企画委員会
- 7月11日 議会運営委員会
- 7月12日 本会議

## 区議会第2回定例会

議員提出議案2件と区長提出

議案11件の計13件を可決

区議会第2回定例会は、6月26日から7月12日までの17日間の会期で開かれました。

本会議の1日目には、4人の議員から区政全般にわたり一般質問が行われました（要旨は2・3面に掲載しています）。

本定例会では、議員から提出された議案1件、意見書1件と区長から提出された議案11件がいずれも原案どおり可決されました（議案の審議結果は4面に掲載しています）。

## 掲載記事のご案内



あらみい あら坊

3面・2面  
区政のこころをきく  
一般質問要旨  
鳥飼 秀夫 議員（自民党）  
中村 尚郎 議員（公明党）  
相馬 堅一 議員（共産党）  
瀬野 喜代 議員（民主・市民）  
議会を傍聴しませんか  
採択した請願・陳情  
意見書提出

4面  
全国市議会議長会における  
議員表彰  
声の区議会だより  
議案の審議結果  
議席図

# 区政のごくをきく

## 一般質問 要旨

### 魅力ある汐入地域に向けての提言と南千住生まれの画家、小松崎茂生誕100年の企画展開催を



鳥飼 秀夫 (自民党)

魅力ある汐入地域に向けての提言

問 汐入地域は、都立汐入公園多目的広場からの砂ぼこりで、建物の窓を開けることもできず、目も開けられない状況である。区は都に改善策を要求してほしい。さらに以前から指摘している汐入小学校の校庭に加え、汐入こども園の園庭の砂ぼこりについて、改善策を検討してほしい。

答 汐入公園の砂ぼこりは、都に改善の要望をしており、7月に安定剤の散布や転圧などの整備工事を行うと聞いている。改めて抜本的な対策を強く要望する。汐入小、汐入こども園の散水は、1日3回及び強風時に実施している。今後、汐入小は芝の改良とスプリンクラー増設を、汐入こども園は園庭の改修を視野に、改善策を検討する。

問 隅田川の水辺空間を活用した汐入公園は、区の重要な観光資源の一つで、都に対し、公園の空間活用を要望していくべきである。また、汐入タワーからは360度見渡せて、地上とは違う印象で面

うか。

答 汐入図書サービスステーションの利用形態は、予約した方が受け取ることが中心になっている。利用者からは本を見ながら選んで借りたい、蔵書を増やしてほしい等の要望があり、隣の空き店舗を活用できるように調整を進めている。南千住生まれの画家、小松崎茂生誕100年の企画展開催を

問 南千住生まれの画家、小松崎茂氏は少年雑誌の口絵・挿絵やプラモデルの箱絵などで著名である。少年時代は南千住周辺を遊び場とし、ここを舞台とした挿絵や風景画を描いている。南千住の街をこよなく愛した氏が、平成27年に生誕100年を迎えるに当たり、企画展開催を強く要望する。

答 小松崎茂氏の企画展については、荒川ふるさと文化館にて平成17年に開催し、大きな反響を呼んだ。教育委員会は現在も氏のコレクションの所有者やご遺族と交流を続けており、生誕100年を迎える平成27年に再度企画展を開催することを検討している。氏の輝かしい功績を紹介することにより、荒川区の文化を広く内外にPRできるような企画としたい。

#### その他の質問項目

- 震災対策について
- 待機児解消策について

### 区民目線に立った行政経営のための公会計制度改革の実現と公共施設の老朽化を問う



中村 尚郎 (公明党)

区民目線に立った行政経営のための公会計制度改革の実現を

問 現在の区の単式簿記・現金主義会計では、単年度ごとの近視眼的な財政運営だと言わざるを得ない。効率的で長期的視野に立った行政経営を行うため、複式簿記・発生主義会計は必須であり、導入してほしい。

答 公会計改革では、区民ニーズに対応して施策の質の向上を進めていく上で、資産や固定費等を明確かつ網羅的に把握できる「発生主義・複式簿記」の導入が重要であり、積極的に検討していく。

問 民間の会計事務所が「新地方公会計制度」導入支援サービスを提供している。会計事務所に委託し、専門家が関与することで、低コストで効率よく改革が進められる。財務諸表を専門の立場から監査し、他自治体と比較検証もできる。アウトソーシングを活用した新公会計制度の導入について問う。

答 「発生主義・複式簿記」の考え方に基づく管理会計の要素を行

新規整備の抑制の3つの考え方に基つき「公共施設マネジメント基本方針」を策定してはどうか。  
答 今後は公共施設の長寿命化とともに、転用や廃止、複合化・多機能化等にも積極的に取り組む必要がある。今後とも公共施設の適切な維持管理や改修、必要な整備を着実に進めるべく、基本方針の取りまとめを検討する。

問 公共施設の統廃合等による跡地の売却等の収入を、基金として積み立て、他の施設の更新費用として財政計画に組み込んではどうか。また、各施設の規模や維持管理費、利用状況を数値にまとめた「公共施設白書」を作成し、その資料を基に中長期の財政計画と連動すべきと考えるがどうか。  
答 跡地等の売却や暫定的な貸し付け等による有効活用を努め、施設の更新費用についても基金の活用など、財源の確保を図っている。また、財政フレームとの整合を図りつつ、提案の公共施設白書にまとめるべき事項も含めて中長期改修実施計画案をまとめていく。

その他の質問項目  
○大介護時代を生きるために  
○新たな発想の下での図書館改革の推進について  
○教育改革の推進について

### 議会を傍聴しませんか

本会議、委員会は傍聴することができます。区議会を傍聴することは、区議会の活動を知る身近な方法です。

傍聴をご希望の方には、会議当日に区役所5階の議会事務局で傍聴券を交付します。定員は本会議80人、委員会15人です。

各会議の開始予定日時は区議会ホームページに掲載しています。詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

内線 3614



あらみい あら坊

各一般質問の詳細については、現在作成中の会議録がほしい、区立図書館及び区役所2階の情報提供コーナーにおいて閲覧できます。また、荒川区議会ホームページ (<http://www.city.arakawa.tokyo.jp/kugikai/>) で平成13年5月以降の本会議録を検索することができます。あわせてご利用ください。

### 防災まちづくりと自然エネルギーの街荒川区づくりと安全安心な子育て環境の整備に向けて



相馬 堅一  
(共産党)

防災まちづくりと自然エネルギーの街荒川区づくりを

区内の総消費電力と自然エネルギーの占める割合を示すよう求める。あわせて、自然エネルギー拡大の目標と実施計画を求める。

区内における東京電力の販売電力量は、推計値で約8億4千万キロワットアワーであるが、自然

エネルギーの発電量の正確な把握は困難である。再生可能エネルギー導入拡大計画は、街なかメガソーラーの計画により平成26年度に発電規模千キロワットを目指す。

個別の住宅耐震化率と家具転倒防止実施率、食糧・簡易トイレ等備蓄実施率の3つについて、100%を目指す年次計画を求める。

南千住地域は2か所の私立認可保育園を開設する計画で、日暮里地域は引き続き保育事業者と調

住宅耐震化率は平成27年度に90%達成を目指す。家具転倒防止実施率は約49%で、さらに進捗させるため、既に助成事業の見直しに着手している。また、備蓄等も含めた、防災力の向上に努める。

水道、ガス等のインフラの耐震化の進捗状況を示し、事業者へ促進を働きかけること。あわせて、宅地内の老朽管対策への区補助の実施を求める。

区内の耐震化率は、水道管29%、ガス管は86%であり、各事業者に耐震対策の促進を要望する。また、宅地内ガス管については、区が補助することは困難である。安全安心な子育て環境の整備に向けて

保育園の地域ごとの増設計画について見解を問う。

南千住地域は2か所の私立認可保育園を開設する計画で、日暮里地域は引き続き保育事業者と調

整を行う。荒川、町屋、尾久地域は保育需要の動向を注視する。

保育施設のゆとりと経験ある保育士は子どもの安全を守る大前提だ。保育園等の安全安心に区が責任を持ち、巡回指導や適正な設備・保育士配置確保を行うべき。

児童一人当たりの面積は国基準を上回っており、保育士は経験年数等を考慮してバランスをとり配置している。園長等経験者が定期的に巡回し、きめ細かな指導等を行っている。

公立幼稚園と私立幼稚園の格差を是正する補助や、保育園の認可による格差を是正する補助について、支給方法などの改善を求める。

私立幼稚園等保護者補助金の交付方法の見直しは、今後検討する。また、認証保育所等保護者補助金については、課題を整理し、実施の可否も含め検討する。

### 認知症の理解促進・早期発見・支援の充実と共生社会を目指すインクルーシブ教育システム構築に向けて



瀬野 喜代  
(民主・市民)

認知症の理解促進・早期発見・支援の充実を

軽度認知障害を発見する取り組みと、(仮称)いきいき推進グループの登録を、認知症予防と介護

予防の施策に位置付けてはどうか。初期の認知症の方を把握するため、看護師の訪問や聞き取りによる診断を取り入れ、認知症予防

に効果のある取り組みの働きかけや講習等の支援を行っていく。

認知症当事者の気持ちを理解する講座等を区内で展開してはどうか。また、当事者が迷子するとき、区民が捜索に協力する体制について、見解を問う。

介護者の交流の場を増やし、介護者相談会を開催するなど認知

症への適切な対応の理解を広める。また、徘徊高齢者を発見する体制は、警察と協議を進めていく。共生社会を目指すインクルーシブ教育システム構築に向けて

合理的配慮が必要だという障害者差別解消法の理念に基づき、地域住民や保護者に対し、障がい児と共に学ぶインクルーシブ教育の啓発を重ねていくべき。

全ての学校・学級における特別支援教育の推進を目指して、ソフト・ハード両面の方向性を検討しており、今後、地域住民や保護者への啓発を進めていく。

障がい児を初めて担任する教員や支援員の状況には課題がある。インクルーシブ教育を推進するための研修をさらに進めてほしい。

教職員・支援員の専門性を確保するための研修は、本年度より職層ごとに実施しており、専門性の確保に努めていきたい。



区長として、憲法96条改憲に対する見解を問う

社会保障改憲に対する自治体としての認識と対応を問う

雇用破壊と金融緩和の影響から暮らしと営業を守る対策を問う

趣旨採択

地方消費者行政充実のための国による支援に関する陳情

建設業従事者のアスベスト被害者の早期救済・解決を図るよう国に働きかける意見書の提出を求める陳情

### 意見書提出

本定例会では1件を可決し、関係機関に提出しました。

軽度外傷性脳損傷に関する労災障害等級認定基準の見直しと教育機関への啓発・周知を求める意見書

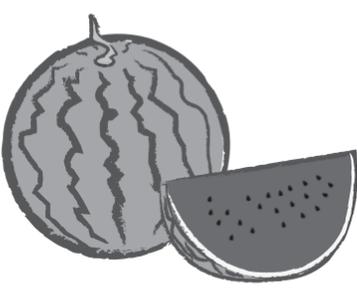
「軽度外傷性脳損傷」(略称MTBI)は、交通事故や高所からの転落・転倒、スポーツ外傷などにより、頭部に衝撃を受け、脳内の情報伝達を担う神経線維「軸索」と呼ばれるケーブルが断裂するなどして発症する病気です。

2007年、世界保健機関(WHO)の報告によれば、年間約900万人の患者が発生しているとされており、その対策が求められています。

この病気は、高次機能障害として記憶力・理解力・注意力の低下を始め、てんかんなどの意識障害等、症状は複雑かつ多様ですが、本人や家族、周囲がこの病気を知らないために職場や学校において理解されず、誤解を生じ、悩み苦しむケースも多いと報告されています。また、磁気共鳴画像法(MRI)などの画像検査では異常が見つかりにくいいため、労働者災害補償保険(労災)や自動車損害賠償責任保険(自賠責)の補償対象にならないケースが多く、働くことができない場合には経済的に追い込まれるケースも多々あるのが

現状です。特に通学路での交通事故や、スポーツ外傷が多発している昨今、子どもたちがMTBIを発症する可能性が高くなっています。よって、荒川区議会は、政府に対し、下記の事項を強く要望します。

- 1 「MTBI」は医師の中にも浸透しておらず、頸椎捻挫、腰椎捻挫等と軽いものとして診断されるため、医療機関への啓発・周知を図ること。
- 2 他覚的な神経学的検査によって、「MTBI」と診断され働くことができない場合、労災障害年金を支給できるようにするため、「労災障害等級認定基準の見直し」をすること。
- 3 「MTBI」について教育機関への啓発・周知を図ること。(内閣総理大臣・文部科学大臣・厚生労働大臣あて)



### 平成25年荒川区議会第3回定例会は

9月上旬に開会する予定です。

### 全国市議会議長会における 議員表彰

5月22日に開催された全国市議会議長会定期総会において、次の4人が表彰されました。

30年  
在職議員

守屋 誠 議員

鳥飼 秀夫 議員

20年  
在職議員

小坂 眞三 議員

10年  
在職議員

小坂 英二 議員

### 声の区議会だよりをご利用 ください

荒川区議会では、議会の活動状況を「あらかわ区議会だより」でお知らせしていますが、目の不自由な方に、議会の活動状況を知っていただくため、「声の区議会だより」を発行しています。

「声の区議会だより」は、「あらかわ区議会だより」の内容をテープに吹き込み、貸し出しするものです。

ご家庭や、お知り合いの方で、ご希望の方がいらっしゃいましたら、議会事務局にご連絡ください。

内線 3616

# 議案の審議結果

平成 25 年第 2 回定例会

○ 賛成 × 反対 — 退席

太字は討論のあったことを示す

議案番号・議案名	会派名・結果 (数字は会派人員)								結果	
	自由民主党 荒川区議会議員団	公明党 荒川区議会議員団	日本共産党 荒川区議会議員団	民主党・市民の会	あらかわ元気クラブ	日本創 新党	あらかわ正論の会	荒川区改革の会		
<b>議員提出議案 (2件)</b>										
第10号	東京都区後期高齢者医療広域連合議員の選挙における候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第11号	軽度外傷性脳損傷に関わる労災障害等級認定基準の見直しと教育機関への啓発・周知を求める意見書提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
<b>区長提出議案 (11件)</b>										
第34号	荒川区防犯カメラの設置及び運用に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第35号	荒川区個人情報保護運営審議会条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第36号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第37号	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第38号	財産の取得(起震車)について	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第39号	訴えの提起について	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第40号	包括外部監査契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第41号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて(上原章氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	適当との意見
第42号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて(松熊貴代氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	適当との意見
第43号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて(高田正道氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	適当との意見
第44号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて(小林美奈子氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	適当との意見

## 本会議場 議席図 (平成 25 年 6 月 26 日現在)

事務局書記					事務局長	議長	人事戦略担当部長	区民生活部長	産業経済部長	環境清掃部長	財政課長
会計管理部長	防災都市づくり部長	子育て支援部長	健康部長	福祉部長			総務企画部長	総務企画担当部長	管理部長	経理担当部長	
代表監査委員			選挙管理委員長		演壇		区長				
			教育長		速記者		副区長		副区長		
23 浅川喜文		22 齊藤裕子			10 明戸真弓美	9 菅谷元昭	2 小坂英二		1 藤澤志光		
26 瀨野喜代	25 清水啓史	24 竹内明浩			12 若林清子	11 茂木 弘	4 安部キヨ子	3 小林行男			
29 吉田詠子	28 松田智子	27 菊地秀信			17 齊藤泰紀	15 服部敏夫	6 齊藤邦子	5 横山幸次			
32 萩野 勝	31 中村尚郎	30 保坂正仁			21 志村博司	19 守屋 誠	8 小島和男	7 相馬堅一			

傍聴席 (80 席) 車いす 2 席

(凡 例)	自由民主党 荒川区議会議員団	公明党 荒川区議会議員団	日本共産党 荒川区議会議員団	民主党・市民の会	あらかわ元気クラブ	日本創 新党	あらかわ正論の会	荒川区改革の会
-------	-------------------	-----------------	-------------------	----------	-----------	-----------	----------	---------